



## 講演のねらい

当時、中世の人々が経験したように、今日の私たちもまた、ともすると日常生活や生命を脅かす様々な力に翻弄され、不安と諦めを覚えます。宗教改革者マルテン・ルターが帝国議会で自説の撤回を教皇から命じられた際の記録に、「我ここに立つ」との言葉があります。ルターは、信仰に基づく自由をもっていました。それゆえに時代の精神に抗して堅く立つことができたのです。ルターの信仰や聖書理解、経験は、国や地域、時代を超えた遺産です。今年、宗教改革から500年を迎えます。この記念の時に宗教改革の歴史とその精神を想起し、現代を生きる希望と力を与えられたいと願っています。

## 講師プロフィール

岡田 仁（おかだ ひとし）

(公財)基督教イースト・エイジヤ・ミッショナリ 富坂キリスト教センター総主事、日本基督教団駒場エデン教会協力牧師、明治学院大学非常勤講師。

1967年大阪生まれ。1989年関西学院大学神学部卒業。同大学院在学中、水俣でフィールドワーク。その後、日本基督教団佐世保比良町教会牧師、駒場エデン教会副牧師を経て、2006年よりドイツ・プロテスタント教会（EKD）奨学生としてホフガイスマール牧師研修所に留学。2009年より現職。  
共著：

『低きに立つ神』（コノニア社 2009年）

『キリスト教平和学事典』（教文館 2009年）

『行き詰まりの先にあるもの—ディアコニアの現場から』（いのちのことば社 2014年）

『原発と宗教—未来世代への責任』（いのちのことば社 2016年）

主たる論文（青山学院大学神学科同窓会基督教学会編『基督教論集』掲載のものとして）：

「民衆の靈性—水俣病事件と『恨の司祭』」（48号所収、2005年）

「伝道者養成をめぐる諸問題—ドイツ留学を省みて」（53号所収、2010年）

「ドイツ・プレディガーゼミナール研修報告—Homiletik（説教演習）」（54号所収、2011年）

「水俣・アジアからみえてくる環境問題」（55号所収、2012年）

「ディアコニーとミッション—ベルリンにおける新しき方向性」（56号所収、2013年）

「ディアコニアの概念について」（57号所収、2014年）

「ディートリッヒ・ボンヘッファーにおける共同体の靈性」（60号所収、2017年）

## 会場案内

日本キリスト教団  
**千葉教会**

代務牧師 矢吹大吾

〒260-0855

千葉市中央区市場町9-20

<http://www.chiba-church.org/>



### ◇交通

JR 内房・外房線 本千葉駅下車徒歩 5 分

JR 千葉駅乗り換え、千葉都市モノレール 県庁前下車徒歩 3 分

